

滝廉太郎 たかたろう 作曲家。明治十一年八月二十日大分縣生れ、昭和二十六年八月二十九日没（一八九一—一九三三）。高等師範學校附屬音樂學校卒。三十四年ドイツ留學と、病を獲て歸國後幾干となく死去。代表作「荒城の月」、「箱根八里」等。

文献、藤浦洗著『荒城の月』（昭和二十二年十月五日雄鷄社）、兼子鎖雄著『滝廉太郎資料集』（昭和二十七年六月大分・別府市と別府圖書館）、宮瀬陸天著『滝廉太郎伝』（昭和二十年二月二十日京都・樂書院）、小長久子著『樂聖滝廉太郎の新資料』（昭和二十八年十一月二十日大分・大分滝廉太郎研究会）、石川積著『曲碑建とびよせと「荒城の月」滝廉太郎を徳ぶ』（昭和四十一年八月一日刊）、小長久子著『滝廉太郎』（昭和四十一年九月二十日吉川弘文館「人物叢書」）、郷原宏著『わが愛の譜—滝廉太郎物語』（平成五年七月二十日新潮社「新潮文庫」）等。

